

久米公民館

地区だより

昭和55年10月25日

第2号

発行 久米公民館
TEL 25-0451

印刷 備ふじたプリント社

ばと思います。
お年寄同志の連帯感の育成は勿論のこと若い世代との交流の場として活用され、本當

楽しい ゲートボール



徳山市各地でお年寄のゲートボールが盛んになっていま
す。久米地区でも八十名もの
愛好者が、連日のように公園
や広場で木製ボールの快音を
響かせています。

九月二四日、高田公園で行
なわれたシルバーゲートボー
ル大会に八チームが参加。南
部チームと坂本チームの決勝
戦は、折からの雨にも負けず
大熱戦が繰り広げられ、見事
南部チームが優勝しました。
ゲートボールは誰にも簡単
にできる楽しいスポーツです。
シルバーの皆さん、一緒にや

自転車の安全な 乗り方講習会

八月一日、自治会、寿会、
婦人会、子ども会、久米小PTAでは、お互に自転車の正
しい交通ルールを身につけ、
事故を未然に防止しようと
「自転車の安全な乗り方講習
会」を実施しました。最近、
自転車事故が多発しています
が一人一人が正しい交通ル
ルを身につけ、痛ましい事故
から身を守りましょう。



同和教育の 深化をめざして

—学校における同和教育—

久米小学校

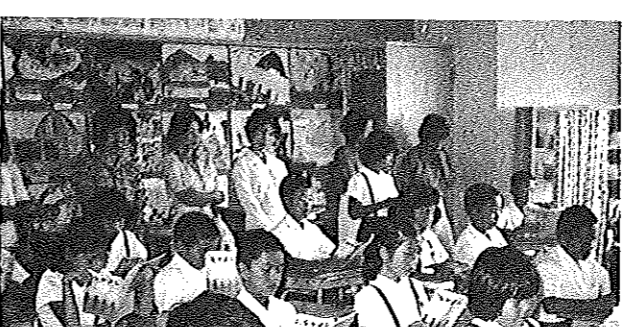
学校における同和教育は、
同和教育の中心的課題である
「法のものとの平等の原則に基
づき、社会の中に根強く残っ
ている不合理な部落差別をな
くし、人権尊重の精神を貫ぬ
くことである。」をふまえ、
学校としての機能を果たすこ
とを通じ、全教育活動の中に
位置づけ、同和教育の解決に
つなげる実践力の基礎を培う
ことにあります。

特に、差別を見ぬく力、差
別を許さない心情、差別をみ
んなで解決する実践的態度を
身につけた子どもの育成をめ
ざしております。
そして、久米小学校では、
そのような児童を育成するた
めに次のような基本的な目標
を設定し、同和教育をすすめ
ております。
一、おたがいの幸福をねがっ
て、一人一人の人権を尊重
する態度を育てる。
一、偏見や差別を見ぬき、公
平な立場で物事を判断し、
行動する態度を育てる。

一、めあてをもち希望をもつ
て明るく努力する態度
を育てる。
一、ねがいや要求を出し合っ
てみんなを力を出し合っ
て解決する連帯感を育てる。
一、もの事を正しくとらえ強
い意志でことにあたろうと
する主体性を育てる。

こうした目標は、さらに、
各学年の発達段階に即して具
体化され、実践されています。
例えば、一年生では、友だ
ちの名前を早くおぼえ、だれ
とも仲よくすることや、友
達の失敗を笑わないこと。
二年生では、なかまはずれ
になった人の気持ちを考え、
仲よくすること。
三年生では、友だちにあだ
なをつけて呼んだりすること
は人権尊重の立場からよくな
いこと。
四年生では、友だちは、そ
れぞれよさをもっていること
を知ること。
五年生では、真理を求め、
広い視野にたつて不都合、矛

盾を正しく見ぬくこと。
六年生では、不合理な差別
を許さない心情をもって、正
しいと信ずる事を一貫して実
践すること。
等のねらいが設定されてい
ます。

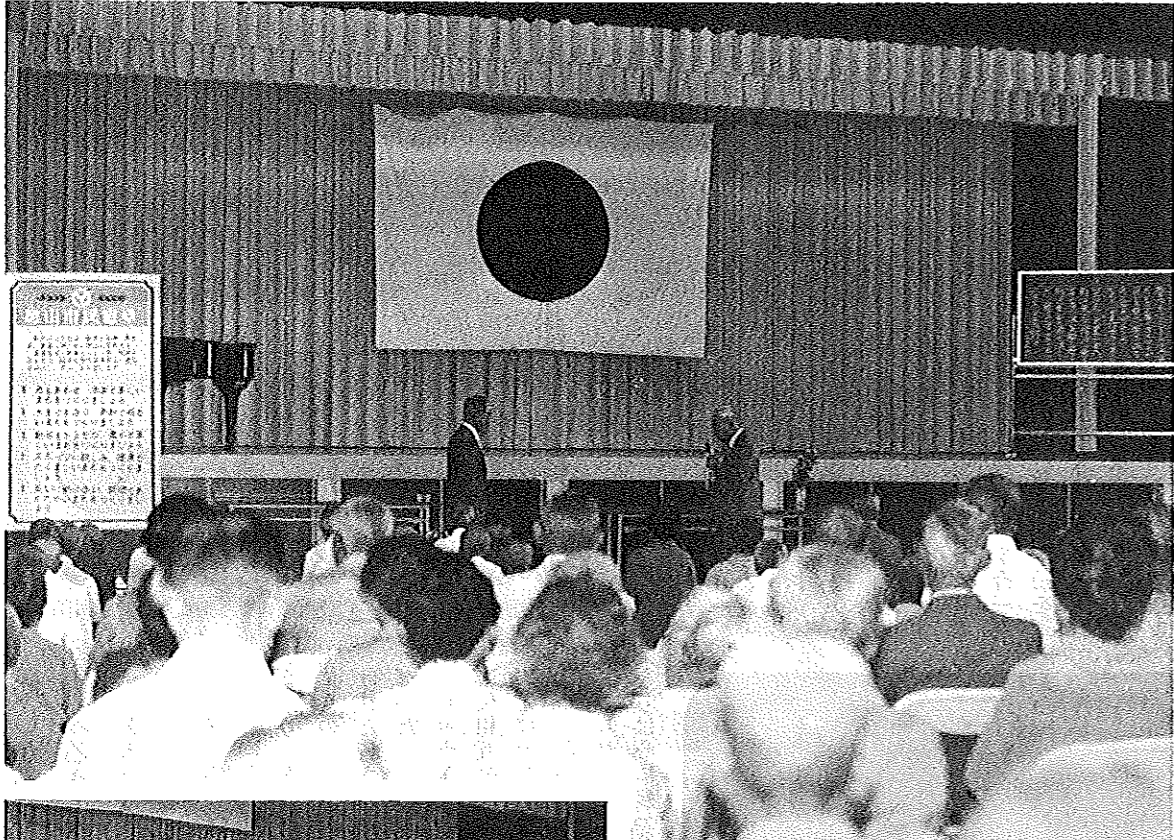


今後この輪を保護者の方々
だけでなく一般の方々にも少
しずつ広げていきたいと思っ
ておりますので、御理解、御
協力の程よろしくお願ひ申し
上げます。

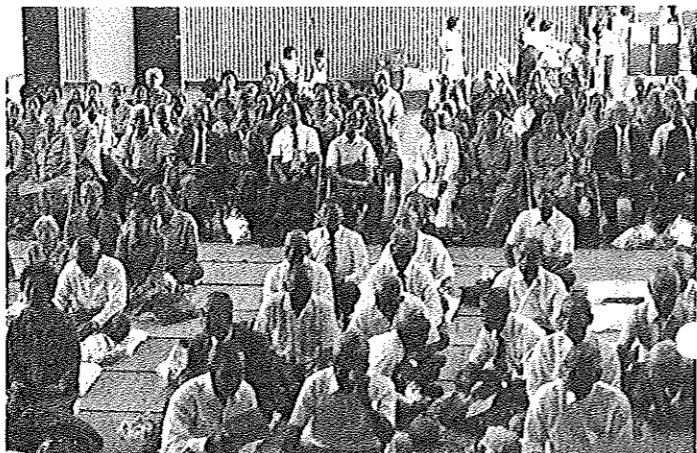
児童の身のまわりにある人権
にかかわる具体的な問題を話
し合い解決する等、指導計画
にもとづいて、同和教育の実
践が積み上げられています。
時には、保護者対象の同和
教育として、お母さんやお父
さん方にも同和教育の授業を
参観していただいたり、懇談
会や講演会を開催する等して
学校の同和教育を理解し、家
庭で支えていただくようつと
めております。

敬老会

まろまろおじいさん



九月十五日、新しい久米小
学校体育館で久米地区敬老会
が開催されました。
七〇才以上の老人三九三名
のうち、ねたきりの方が五四
名、欠席者が五〇名、出席者
は二八九名でした。
慰安演芸には自治会、婦人
会、寿会、久米小学校、幼稚
園から、舞踊、琴、詩吟、漫
才、鼓笛隊など多数の方が参
加され、地区をあげての祝福
にお年寄の方も大変喜ばれ
ました。



第5回 久米地区文化祭

- 期 間 11月15日(土) 9.00~16.00
16日(日) 9.00~15.00
- 場 所 久米公民館
- 催しもの 展示コーナー、即売コーナー、シルバーコーナー、ちびっ子コーナー、実習コーナーほか

※多数のご来場をお待ちしています。



●久米公民館・東福祉館の講座●

すばらしい仲間と心のふれあいを！
お気軽にご参加下さい！ ◆お問い合わせは
徳山市久米秋本 久米公民館 25-0451
" 寺下 東福祉館 25-1513

久米公民館			東福祉館		
講座・サークル	指導者	開催日	講座・サークル	指導者	開催日
生花	片山先生	第1.3(火) 13:00~15:30	生花	重岡先生	第1.3(火) 9:30~11:30
料理	青木 "	" 1 (金) 9:30~13:00	料理	実習生 "	" 2.4(火) 19:30~21:30
"	実習生 "	" 2 (火) 9:30~13:00	"	" "	" 2 (月) 9:30~12:00
"	" "	" 2 (水) "	"	" "	" 2 (火) 9:30~12:00
"	" "	" 2 (金) "	"	" "	" 4 (火) 19:30~21:30
習字	伊藤先生	" 2.4(木) 10:00~11:30	習字	溝口先生	" 2.4(木) 10:00~11:30
着付	西村 "	" 1.3(火) 9:30~12:00	洋裁	松永 "	毎週(金) 9:30~11:30
絹物手芸	松本 "	" 1.4(火) 9:30~11:30	和裁	清水 "	第1.2.3(火) 9:30~11:30
詩吟	藤元 "	毎週月 19:00~21:30	絹物	松本 "	" 1.2.3(出) 9:30~11:30
"	高日 "	" (火) 19:00~21:30	手芸	" "	" 1.3(火) 9:30~11:30
"	橋本 "	" (出) 9:30~12:00	民謡	田中 "	" 2.3.4(木) 19:30~21:30
卓球	林コーチ	" (月・水・土) 9:30~12:00	コーラス	吉村 "	" 1.3(月) 9:30~11:30
盆裁	大屋先生ほか	第1.3(日) 9:30~15:00	詩吟	西川 "	毎週(日) 19:30~21:00
開基グループ	年光リーダー		"	"	毎週(火) 13:00~16:00
椎茸グループ	石田 "	適時	古典	山中 "	第4 (火) 9:30~11:30
育苗グループ	片山 "		陶芸	高木 "	毎週(火) 9:30~12:00
花壇作りグループ	内山 "		卓球	木村コーチ	" (火・木) 13:00~16:00
			園芸	中村リーダー	第2 (火) 9:30~12:00

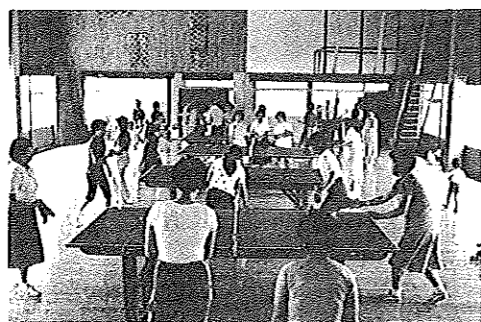
栄養教室に参加して

老郷地下
井川 照美

月一回の栄養教室、最初はあまり気が進まなかったが、半年を過ぎた今、私はこの日の来るのがとても楽しみです。昨年までは小学校の家庭科教室で行なわれていたが、今年

から公民館が出来、大変設備の行き届いた料理室で快適な数時間を過ごしています。

内容は、お弁当のおかず、貧血予防の食事、子供のおやつ、おせち料理。どれを取ってもすぐ役に立つ物ばかり。安い材料でおいしく作れ、お年寄りの家庭でも大変評判が良く、家庭の健康管理にも



卓球グループより

石ヶ道 内山 千鶴子

今年の五月に十五名からスタートした卓球グループですが、漸次入部者も増し、今では四十名を超えるようになり、年令も二十才代から六十才代まで、週一回の練習が三回と大きく発展してきました。念願のコーチも優秀な方に来て

つなっています。今まで同じ地域にいなながら親しい人以外に話すことがなかった私にとって、コミュニケーションを良くしていくことにも大いに役立っており、栄養教室に参加して良かったと思っています。

体育振興会々長

藤井雅則氏に決まる



去る七月二四日の臨時総会で、高橋前会長の病氣辞任に伴い、後任会長にひばりヶ丘の藤井雅則前副会長(34才)が選任されました。



「ふるさと夏まつり」を終えて

久米青年団長 久野正之

この度ふるさと夏まつりを開催するにあたり、地区の皆様の大変な御協力により盛会裡に終ることができました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。



この夏まつりを最初に考えたのは昨年の暮でした。「青年団を再編し、出来れば夏まつりをしたい」と思った訳です。こんな事を企画したが、団員は足りない、どうやっ

て参加して貰うかということ。そこで「ペーパーフライト」なる機関紙を発行し、若者をリストアップし、各家を月水金で訪問しました。この活動で多少団員も増え、当日だけの協力者もできました。

企画実行の時点で、体育振興会を始め各種団体との歩調も揃い、かなりスムーズに運びましたが、外部業者とのトラブル、折からの雨予想外の人出など初めてのことで行き届かない点もあり、御迷惑をおかけしたことと、思います。この次からはこのことを反省し、より楽しい企画

にしたいと考えています。現在、青年団では組織の充実を目指し、団員勧誘のため各戸訪問を再開しています。地域活動の中で、我々若者の果す役割の重大さを今一度見つめ直し、青年団活動を通じて地域の文化の発展と若者の連帯感を深め、二度とない青春を謳歌しようではありませんか。第一、三土曜日の夜久米公民館で定例会をします。詳しくは

久野正之 ②三五七六
藤井健治 ②三三八三

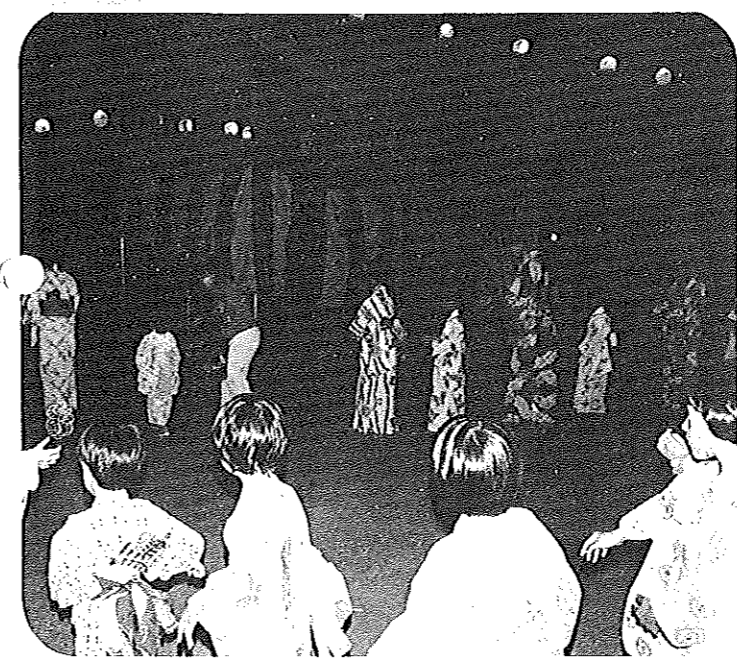
ふれあいの場を広める 第1回ふるさと夏まつり

楽しかった

ふるさと夏まつり

久米小六年一組 藤井俊維

去る八月十六日、盛大に、「第一回久米地区ふるさと夏まつり」が行なわれた。あいにく雨のふるみ中ではあったけれど皆さんとても楽しそうだった。このまつりでの一番のしゅうかくといえは、「地区民相互の心のふれあいの広場となった」ということだ。ほくにとってもとても楽しいまつりだった。とくにほんおどりは心に残った。あの手さ



希望の公民館文庫が開設の運びとなりました。今後の地区文化の向上の一助となるためにも多数の方のご利用をお待ちしています。

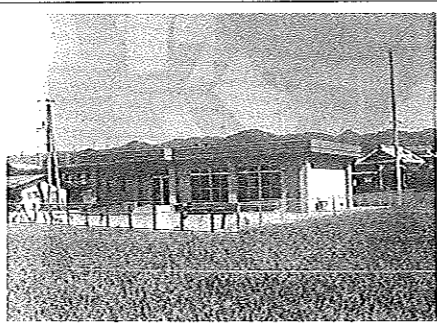
図書の利用は最初に公民館又は支所職員に申し出て利用券(袋)に住所・氏名を登録し、後の貸出等はセルフサービスとなります。

現在、読書会による楽しい共同読書活動を進めています。毎月第一金曜日十時~十二時、久米公民館で行います。

なお、第一回は十一月七日久米小PTAと合同です。テキストは宮尾登美子著「一絃の琴」、公民館に用意してあります。講師は図書館の田辺朝一氏です。どうぞ、お気軽にご参加下さい。

老人憩いの家完成

西光寺自治会長 西村 諦



この度地域社会に貢献してこられたお年寄りの為に憩いの家が市当局や地元の人々の協力により蔵光に完成、七月九日竣工式が行なわれました。経済的豊かさが優先される中で、より精神的文化的な豊かさが求められている今日、我が国の高令化社会への移行それに伴う老人福祉の問題等で根本的な見直しが迫られています。とかく閉鎖的になりがちなお年寄りの生活環境を憩いの家を通じて、お互いの共通な話題・趣味・娯楽等により、喜び・苦しみ・悩みを語り合うことで、一人一人の心理の深層にひそむ孤独感を解消し、生きがいが生れてくれ

公民館文庫開設